

2023年6月15日

HOYA ビジョンケアカンパニー

## 独自の累進設計を開発して 20 年

## 老眼世代の「これから」を応援する新製品 HOYALUX Optina 登場

～HOYA 独自の累進設計【BOOM】開発から 20 年。

現代のデジタルデバイス社会の特性を取り入れ進化させた新製品が誕生～

HOYA 株式会社（本社：東京都新宿区、代表執行役 CEO：池田英一郎）のメガネレンズ事業を担う HOYA ビジョンケアカンパニーは、2023 年 6 月 15 日に新設計の遠近両用メガネレンズ<HOYALUX Optina>を発売いたします。

■HOYA ビジョンケアカンパニーHP <https://www.vc.hoya.co.jp/>

The advertisement features four portraits of people: a young woman, an elderly woman wearing glasses, a young man, and an elderly man wearing glasses. The text 'We care about your eyes. HOYA' is visible in the top right. The central text reads '“これから”も楽しむ 大人たちへ。' (Enjoying 'from now on' adults). At the bottom, it says 'HOYA 独自の両面複合累進設計【BOOM】誕生から 20 年' (20th Anniversary of HOYA's unique double-sided progressive design [BOOM]), '両面複合累進設計で、より自然な視界を。' (With double-sided progressive design, for a more natural field of vision.), and 'HOYALUX Optina 新発売' (New release).

### 両面複合累進設計の開発から 20 年

1枚のレンズ面上で、遠くを見るための度数から近くを見る度数に徐々に度数が変化していく累進屈折力レンズ（遠近両用レンズ）は、その設計の性質上どうしてもレンズ周辺部で見た際に歪みが発生してしまいます。その見え方の歪みは、遠くの度数と近くの度数の差（加入度）

が大きくなるほど不快感が強くなります。

HOYA はその歪みを軽減することで高加入度でもはっきり見える範囲が広い独自の設計「両面複合累進設計（以降 BOOM 設計）」を開発、2003 年に HOYALUX iD を発売しました。当時はレンズの外表面、または内表面のどちらかを累進面として切削し度数を作製する方式が主流でしたが、外表面と内表面の両面を削ることでそれぞれの特性を活かし、より自由に複雑な表現ができるようになりました。HOYALUX iD は当時、今までにない快適な見え方だと好評をいただき、現在に至るまで BOOM 設計はパーソナルな情報を取り込んだ BOOM individual 設計の誕生などさらに進化を続けています。

## HOYALUX Optina

国民総スマホ時代と言っても過言ではないほど、デジタルデバイスが浸透している現在、私たちの生活は近くを見る時間が長くなってきています。この「近くを見る時間の増加」という視生活を考慮し、さらに「両眼で快適に見える」ことにフォーカスし、BOOM 設計に新たに2つの設計を加えました。設計の追加により、中間からお手元の見やすさを向上させ、左右の度数に差がある方にも快適な見え心地を追求しています。

### ■ 両眼 Natural Control 設計

累進屈折力レンズ（遠近両用レンズ）で近くを左右方向に見た際（流し目のように顔を動かさず眼球だけ移動）、左右の眼（両眼）で物体を見ているための歪みが発生します。両眼 Natural Control 設計はその歪みを抑える HOYA 最新の設計です。HOYA 最上級メガネレンズである「HOYALUX 極」以外では初の採用です。

### ■ 両眼バランス設計

左右の眼に度数差があると、従来設計のレンズでは両眼で見た場合見づらさを感じることがあります。両眼バランス設計では左右の度数差からくるズレを補正して最適化することで、遠く・中間・近くとどの距離を見てもクリアな視界を得ることができます。BOOM individual レンズ以外での採用は HOYA 初の試みです。

## HOYALUX Optina はこんな方におすすめです

- 加入度が高くなってきた方
- 遠近両用メガネを試したことがあるが、あわずにあきらめたことがある方
- 今使っている遠近両用メガネでお手元の見づらさを感じ、買い替えを検討している方
- 日常的にパソコン・スマホなどデジタルデバイスを使う方

